

# 東京都豊島区内・アパート火災の初期消火に 公園設置の「街かど消火栓」が活用されました

## 情 況 (消火業者のお話)

- ・ 2月15日深夜、東京都豊島区池袋地区内のアパート1階から火災が発生。
- ・ 周辺の騒々しさに気づいた近隣住民のとっさの判断で、目の前の公園に設置されていた簡易水道消火装置「街かど消火栓」を使用して、消防隊到着までの5、6分間、放水活動を行った。
- ・ 火災発見時には1階の火元はすでに大きくなり消火は厳しかったが、2階への延焼も進んでいたため2階ベランダや両隣の部屋へも放水を行った。
- ・ 放水が2階天井まで届き、しかも放射範囲が広がったため少しは延焼防止のお役に立てたのではないかと。
- ・ 放水開始当初、近くの街頭設置消火器も玄関から放射されたが、火勢が強く部屋中真っ白で視界が悪くなったが、道路からの放水は可能だったので放水が継続できた。
- ・ 日常の水道水ですが、継続的に遠くへ、高く、広範囲に放水が可能で消防隊の到着までの初期消火には消火器もそうですが「街かど消火栓」は更に役立つものだと思います。とお話しされました。
- ・ ただ、火災警報などでもっと早く発見できればここまでにはならなかったかもしれない。とも言われていました。

“火の元注意” 早期発見、初期消火です。

最後になりましたが、この度の火災にあわれましたお住いの方には心よりお見舞い申し上げます。



火災現場



使用された街かど消火栓